

■ 高校生アンケート調査の結果について

■ 高校生アンケート調査

【実施概要】

- 実施月
 - 2023年10月
- 調査対象
 - 各高校の2年生202人
- 回収数
 - 回収数：190票 回収率：94.1%

[学校別回収数]

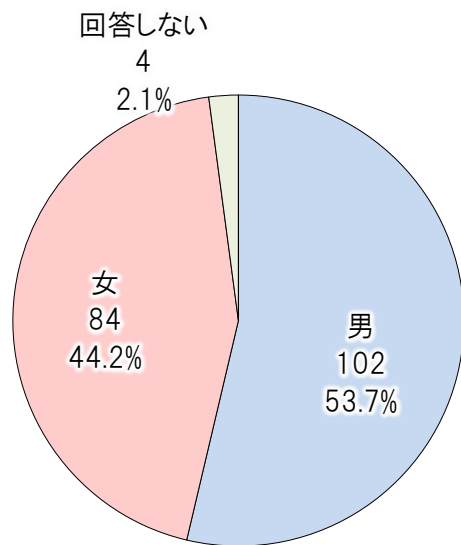
学校名	対象数	回数数
大田高等学校	125	122
邇摩高等学校	76	65
出雲養護学校邇摩分教室	1	1
無回答	—	2
合計	202	190

■回答者の性別、出身地

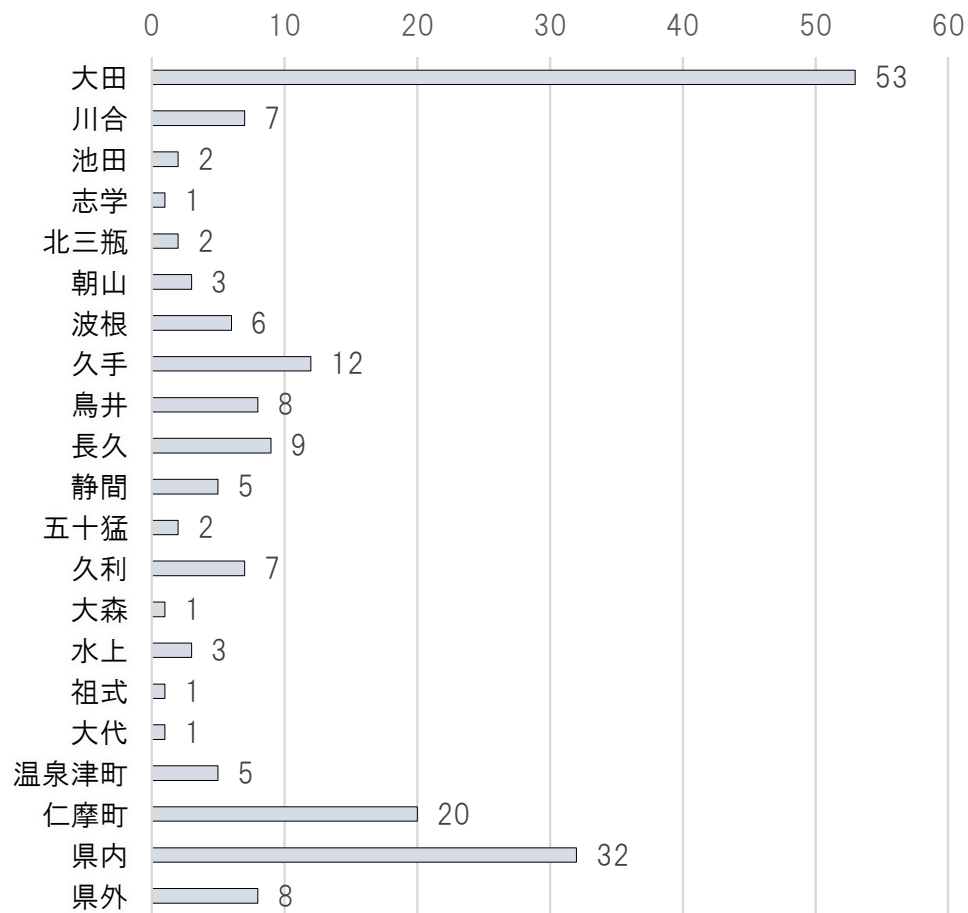
回答者の性別と出身地は以下の通り。

大田町の出身者が多い。また、大田市外の学生も2割近く存在している。

[性別]

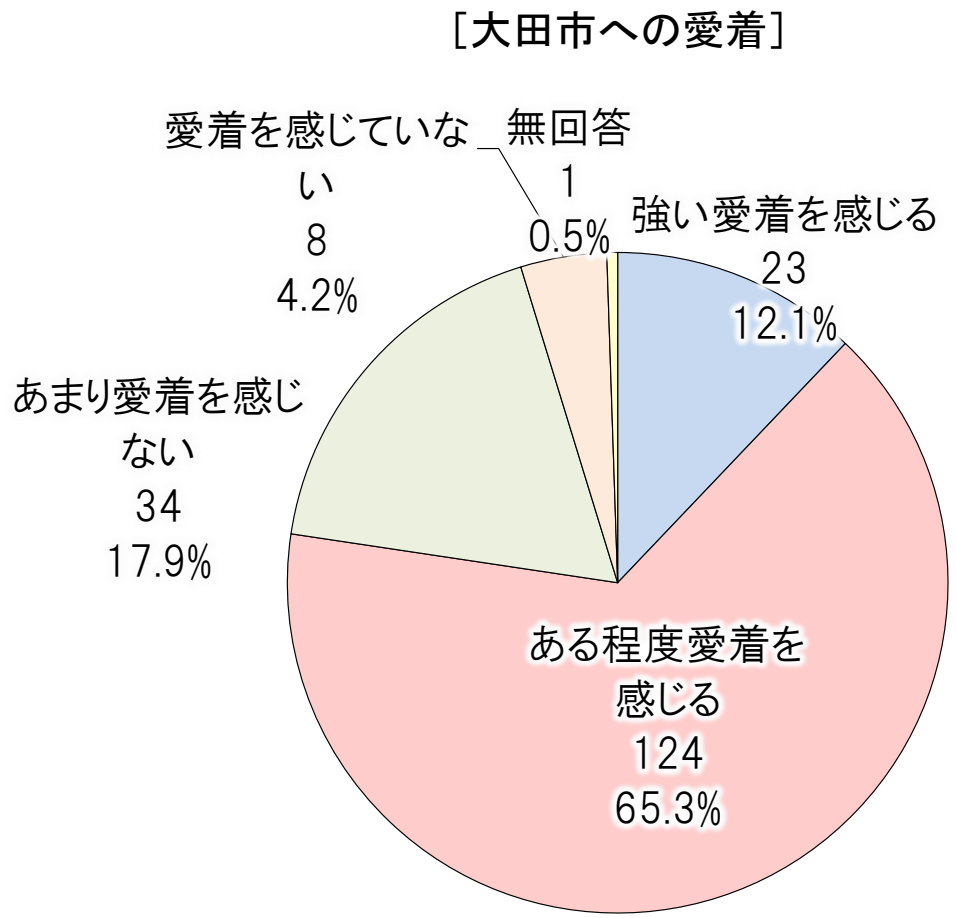


[出身地]

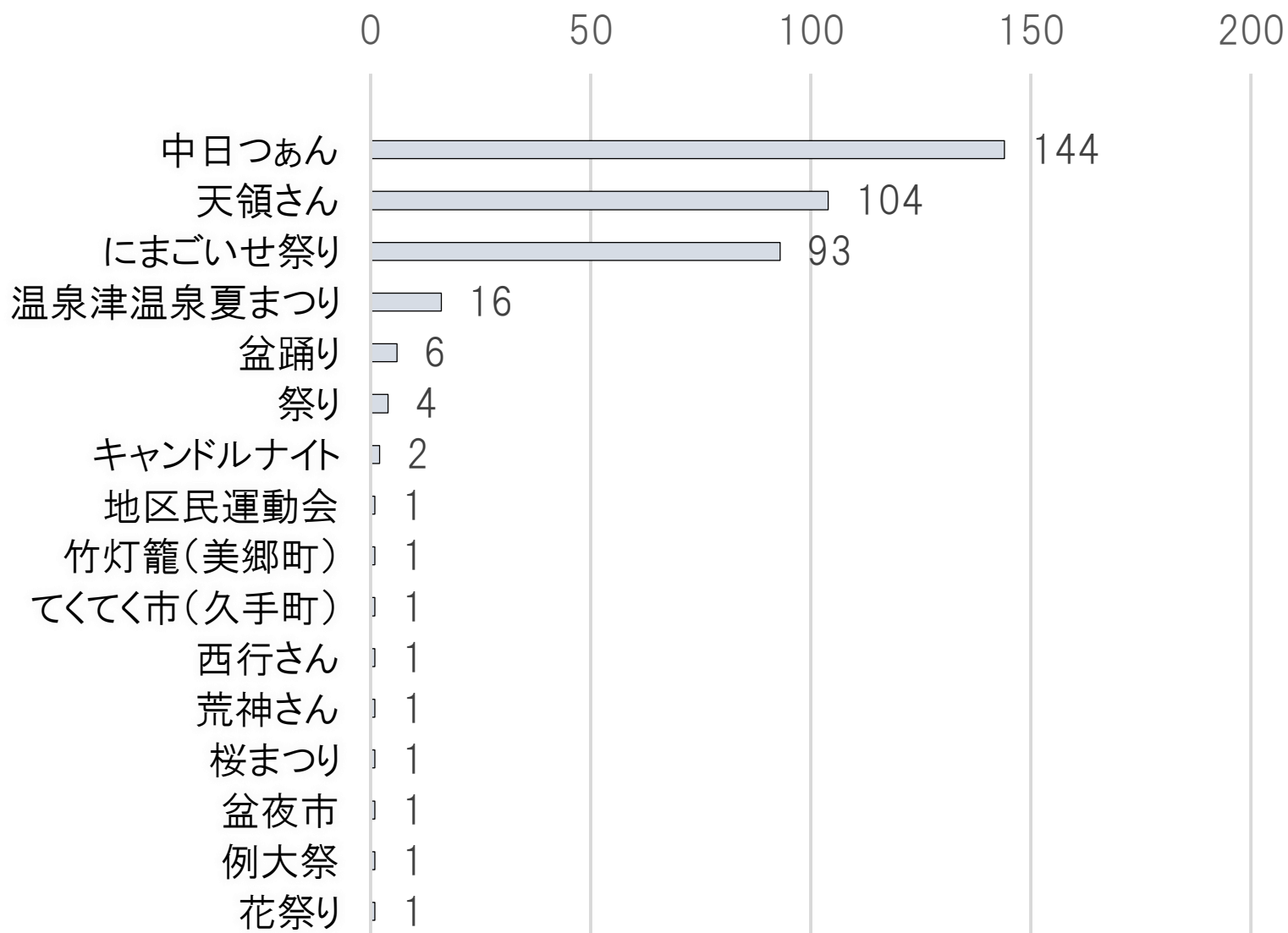


■大田市への愛着

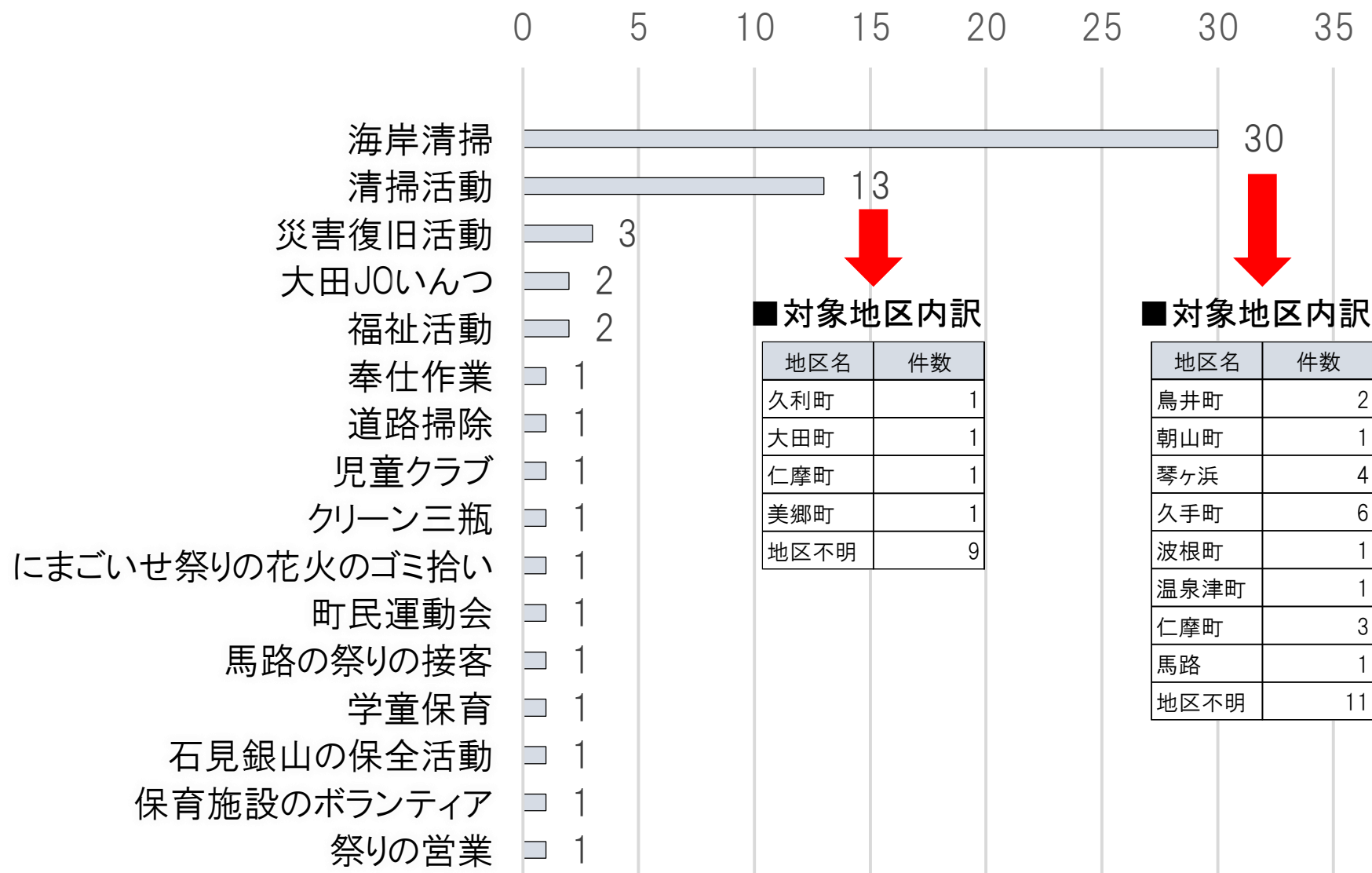
大田市への愛着について、「強い愛着を感じる」と「ある程度愛着を感じる」が約8割を占めている。



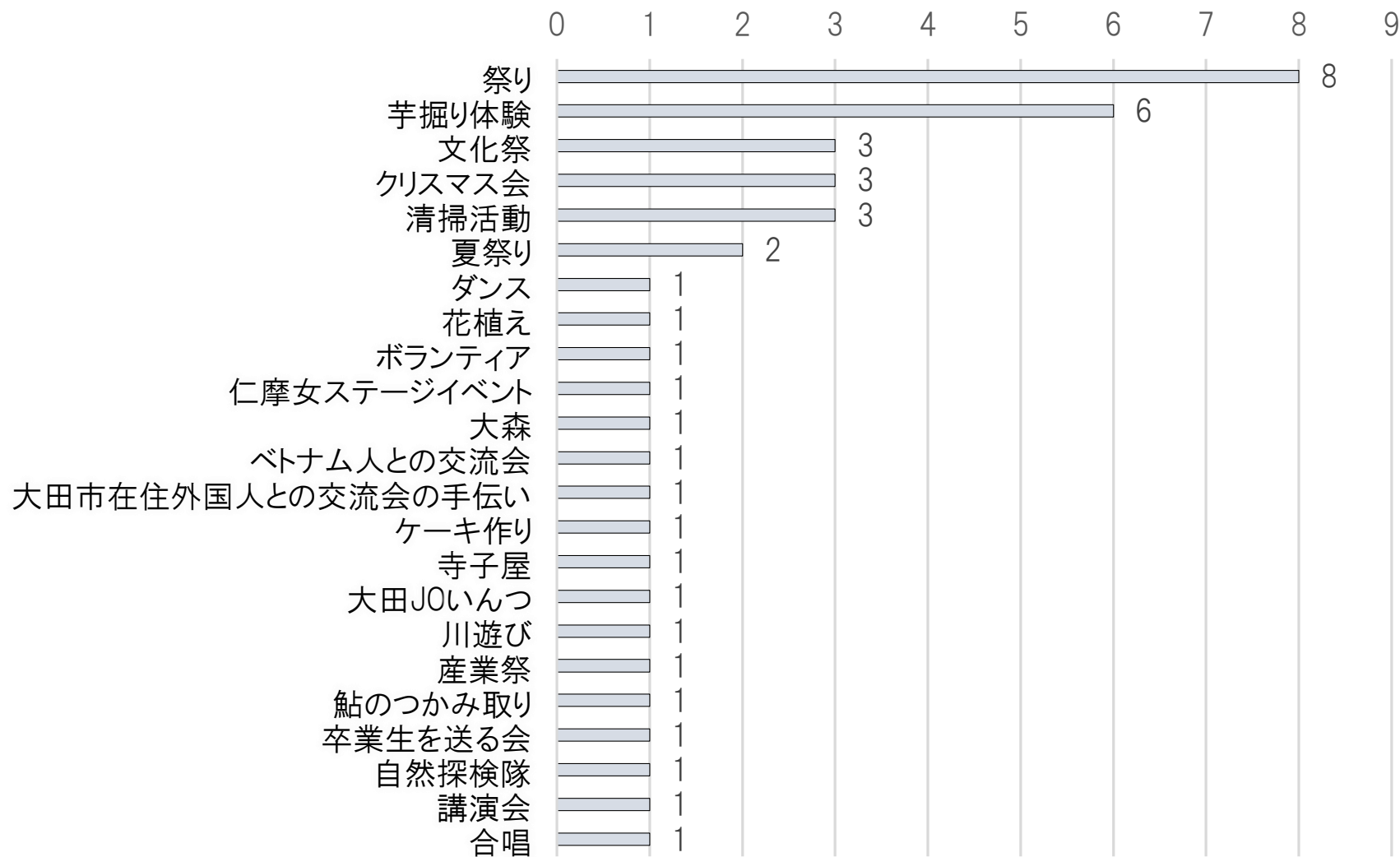
■地域の行事・イベントで参加したことがあるもの



■ ボランティア活動で参加したことがあるもの



■まちづくりセンター(公民館)の活動で参加したことがあるもの

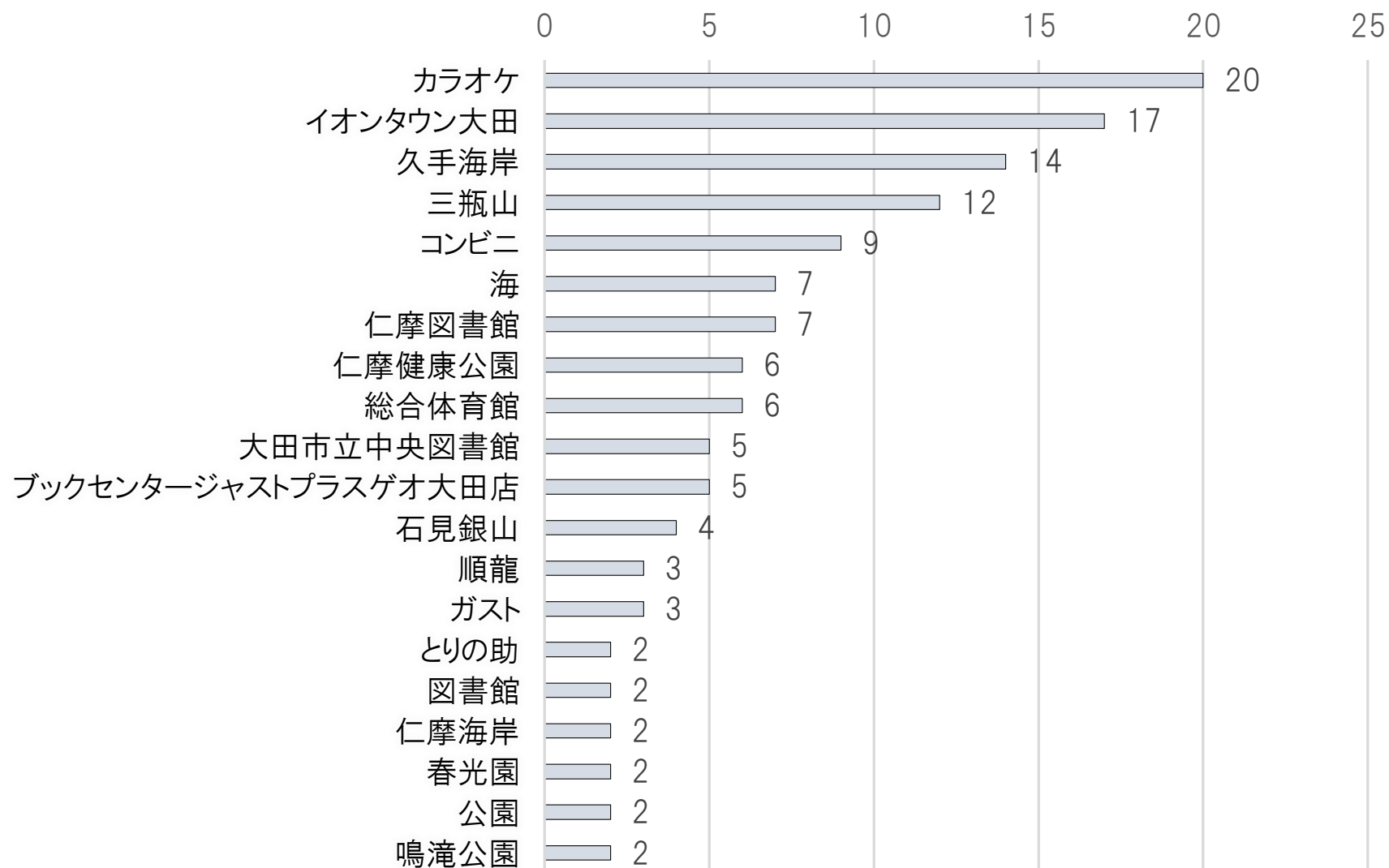


■企業の活動で参加したことがあるもの

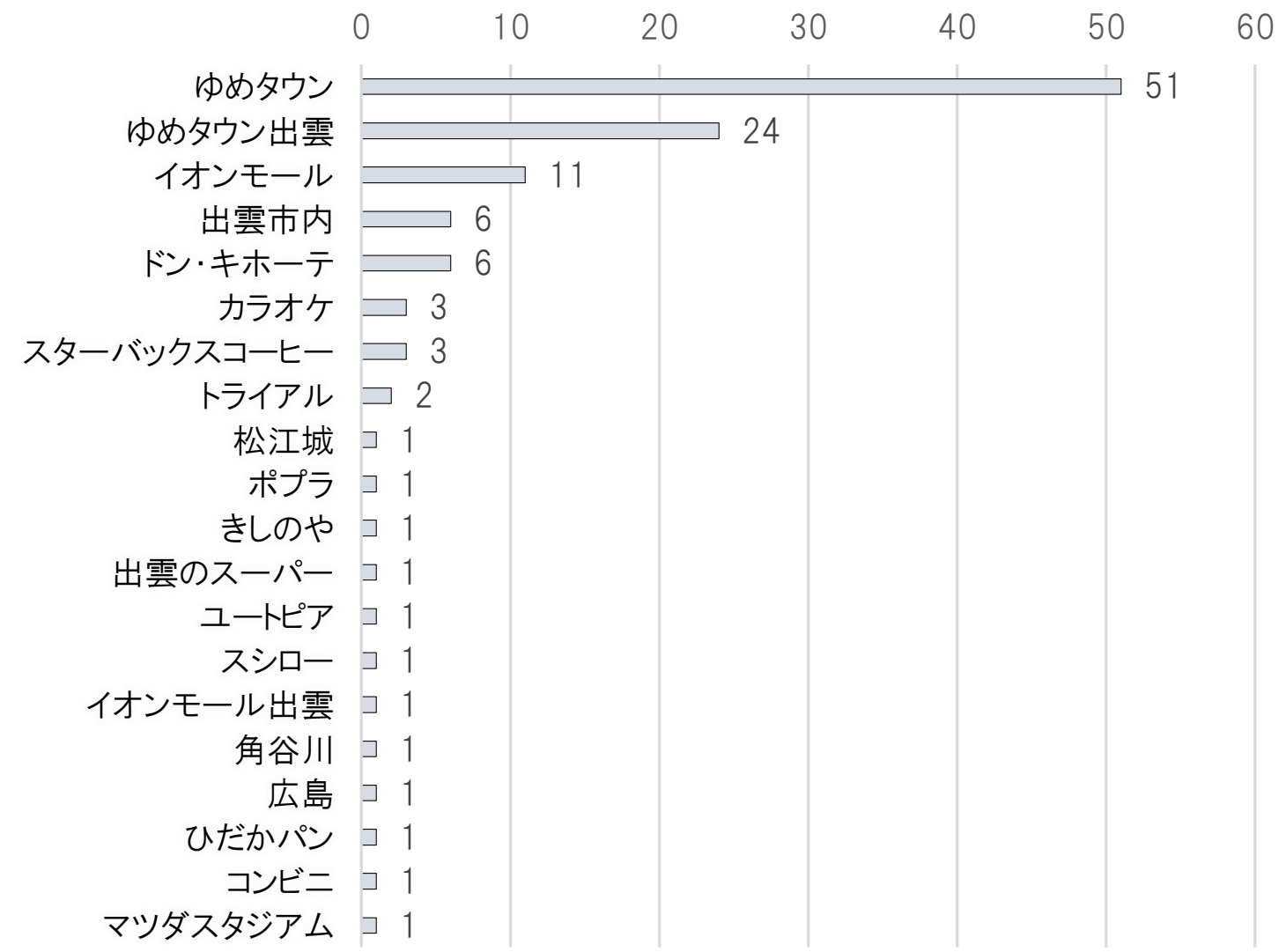


お気に入りの場所等

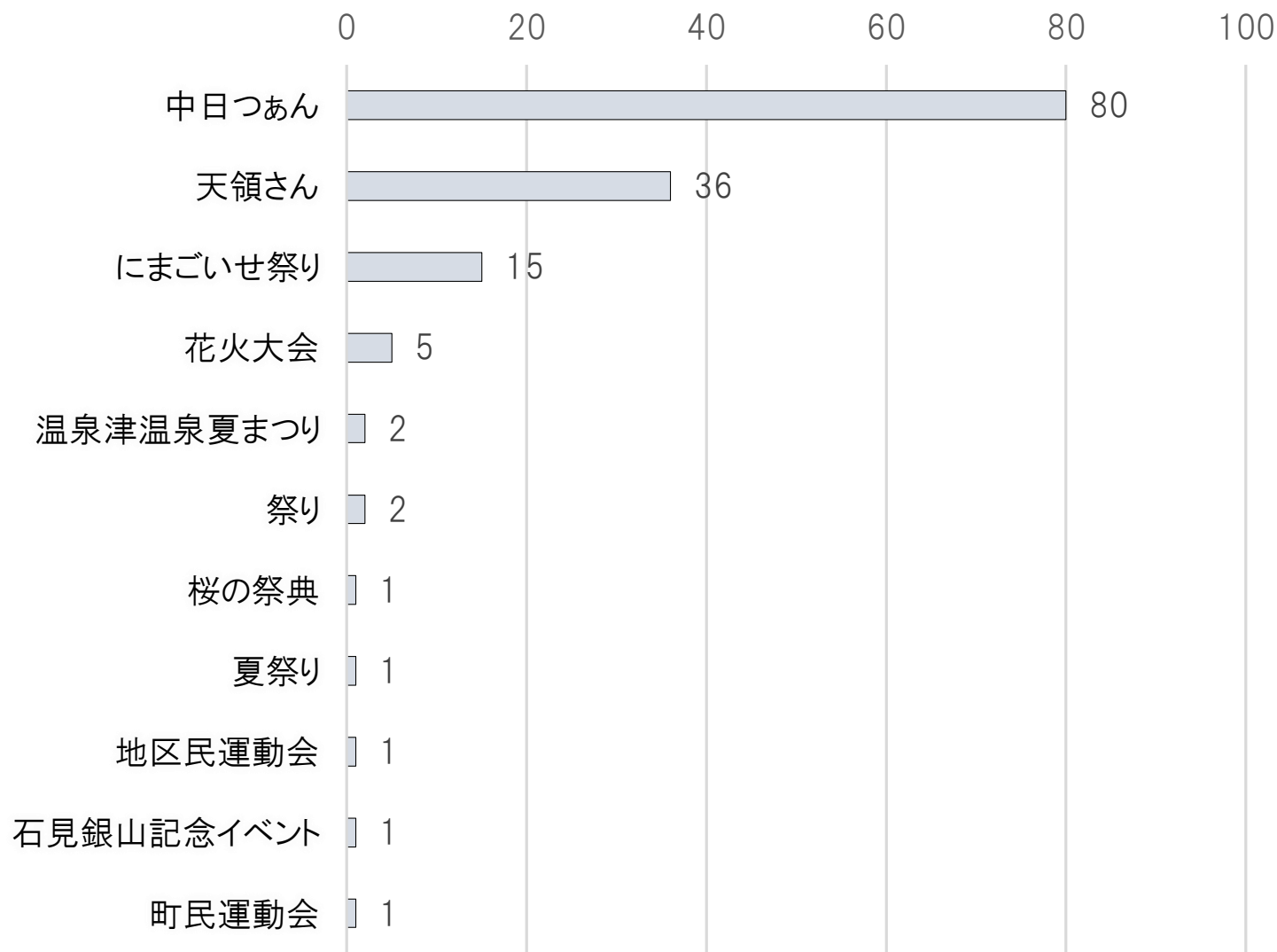
■お気に入りの場所(市内)



■お気に入りの場所(市外)



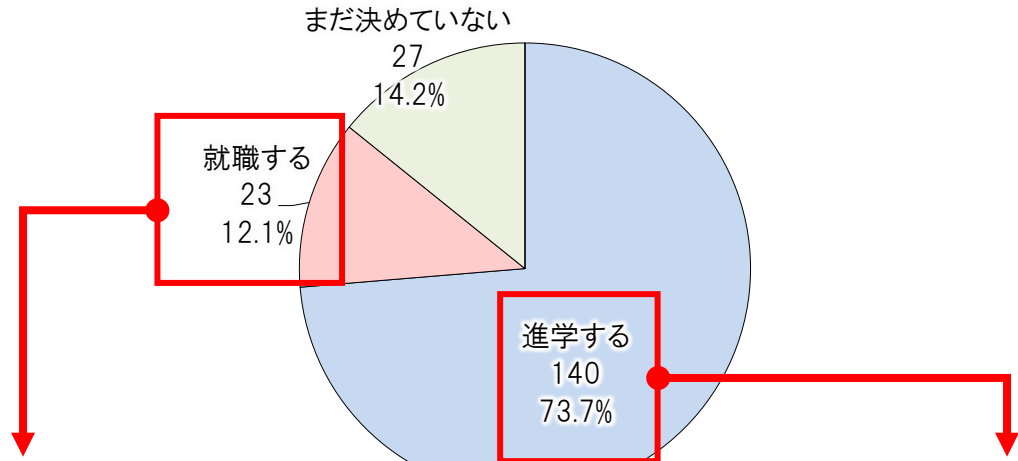
■お気に入りのイベント・行事



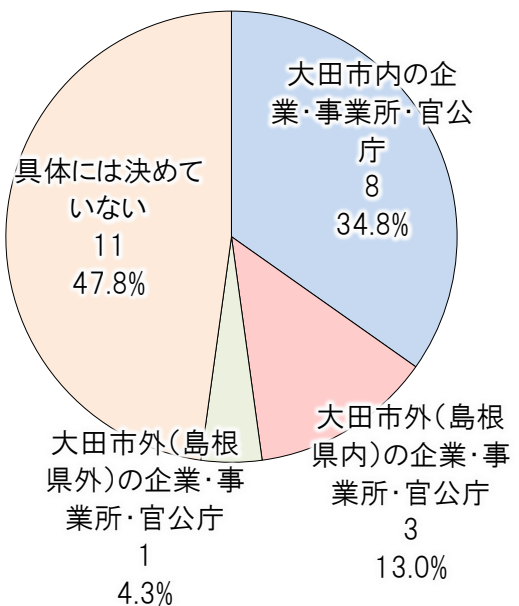
卒業後の進路、就職先について

進学希望者は7割、就職希望者は1割となっている。

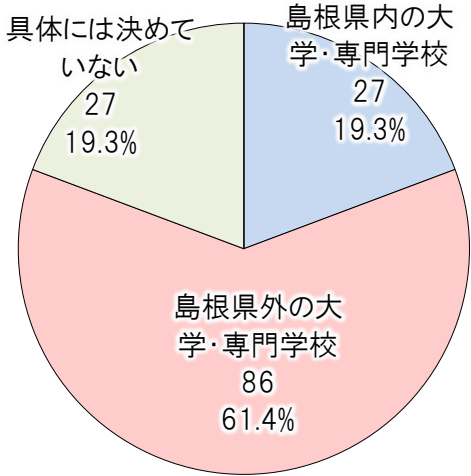
[進路]



[就職希望先]



[希望進学先]



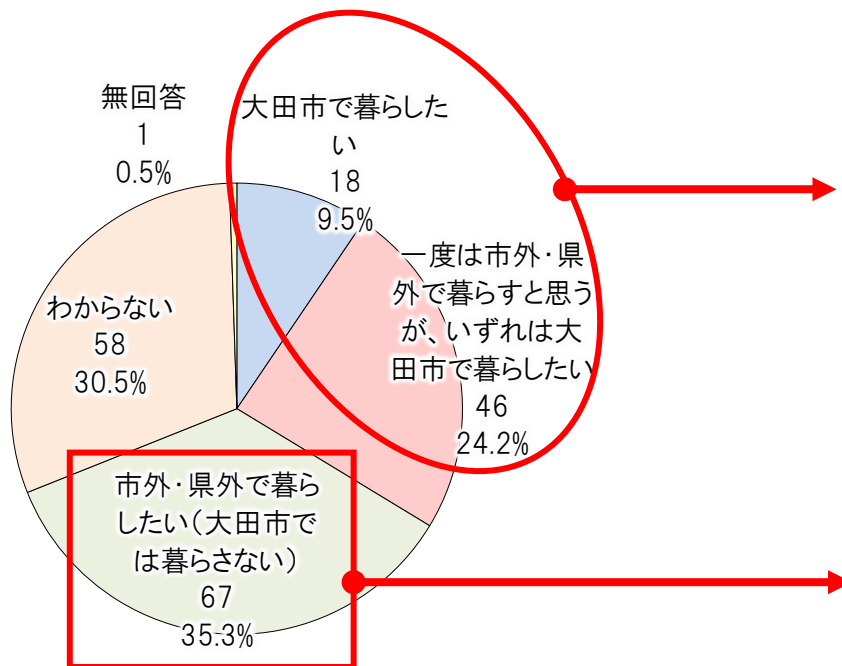
将来の大田市での居住意向

■ 居住意向、愛着とのクロス集計

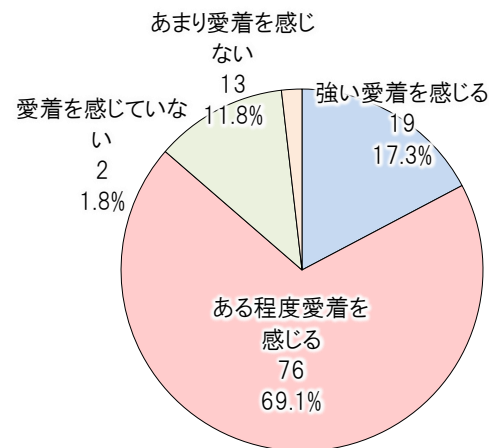
回答者の居住意向は以下の通り。

将来的に大田市に居住したいと考えている学生ほど、強い愛着を示す傾向にある。

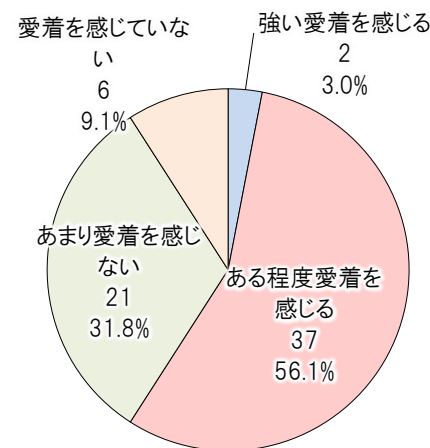
[居住意向]



[居住意向別の愛着度クロス]

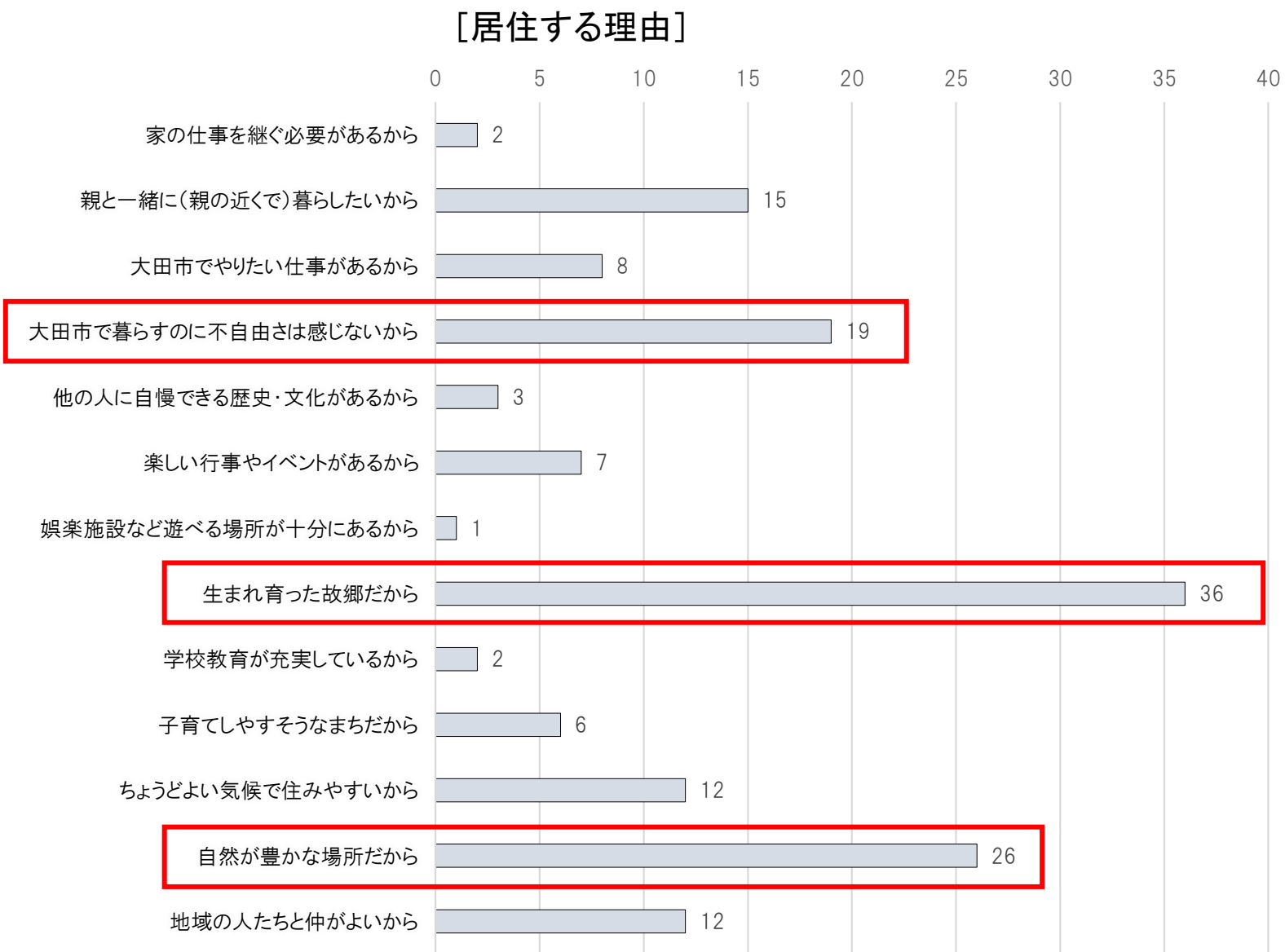


[居住意向別の愛着度クロス]



■ 将来的に大田市に居住する理由

将来的に大田市に居住する理由は、「生まれ育った故郷だから」が最も多く、次いで「自然が豊かな場所だから」、「大田市で暮らすのに不自由さは感じないから」となっている。



■ 将来的に大田市に居住しない理由

将来的に大田市に居住しない理由は、「行きたい大学、専門学校等が無いから」が最も多く、次いで「娯楽施設など遊べる場所が少ないから」、「電車やバスを使った移動が不便だから」となっている。

[居住しない理由]

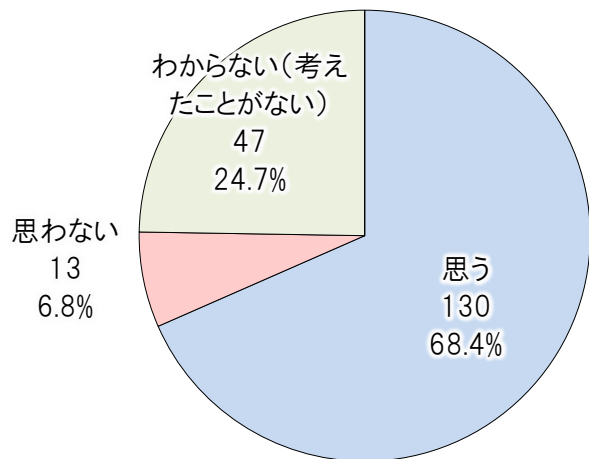


将来のライフプランに関する意向

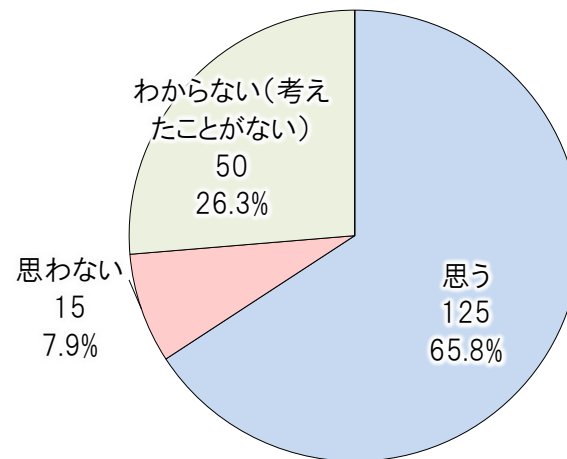
■結婚、子育ての意向

回答者の結婚、子育ての意向は以下の通り。

[結婚などによりパートナーと共に暮らしたいと思うかどうか]



[将来子どもを育てたいと思うかどうか]

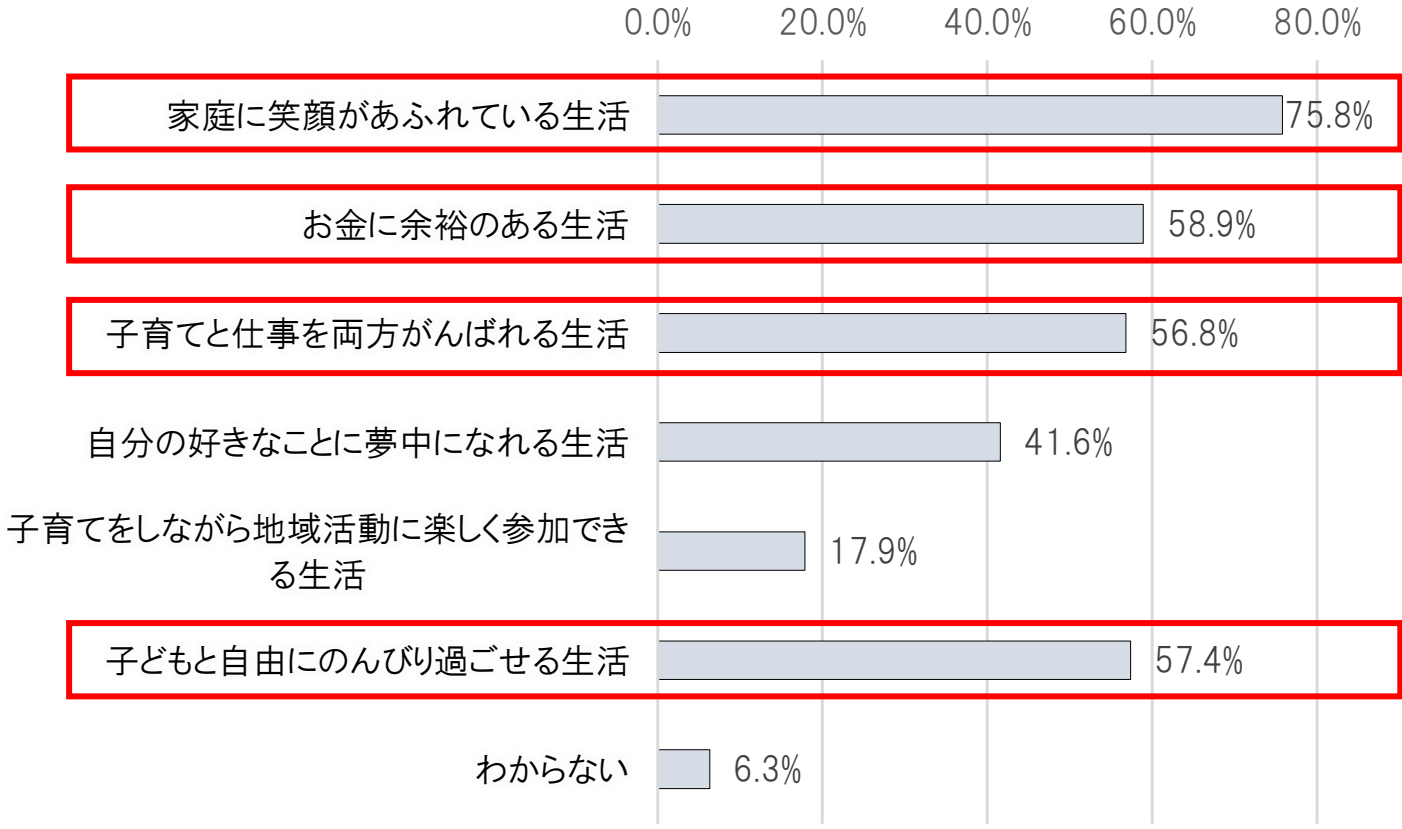


いずれも、約7割が思うと回答。
結婚、出産、子育てのライフステージを
思い描く学生は多い。

■ 将来あなたが家庭を持ち、子どもを育てる立場になったとして、どんな生活を望むのか

理想の生活像として挙げられていたのは、「家庭に笑顔があふれている生活」が最も多く、次いで「子ども自由にのんびり過ごせる生活」、「お金の余裕のある生活」、「子育てと仕事を両方がんばれる生活」となっている。

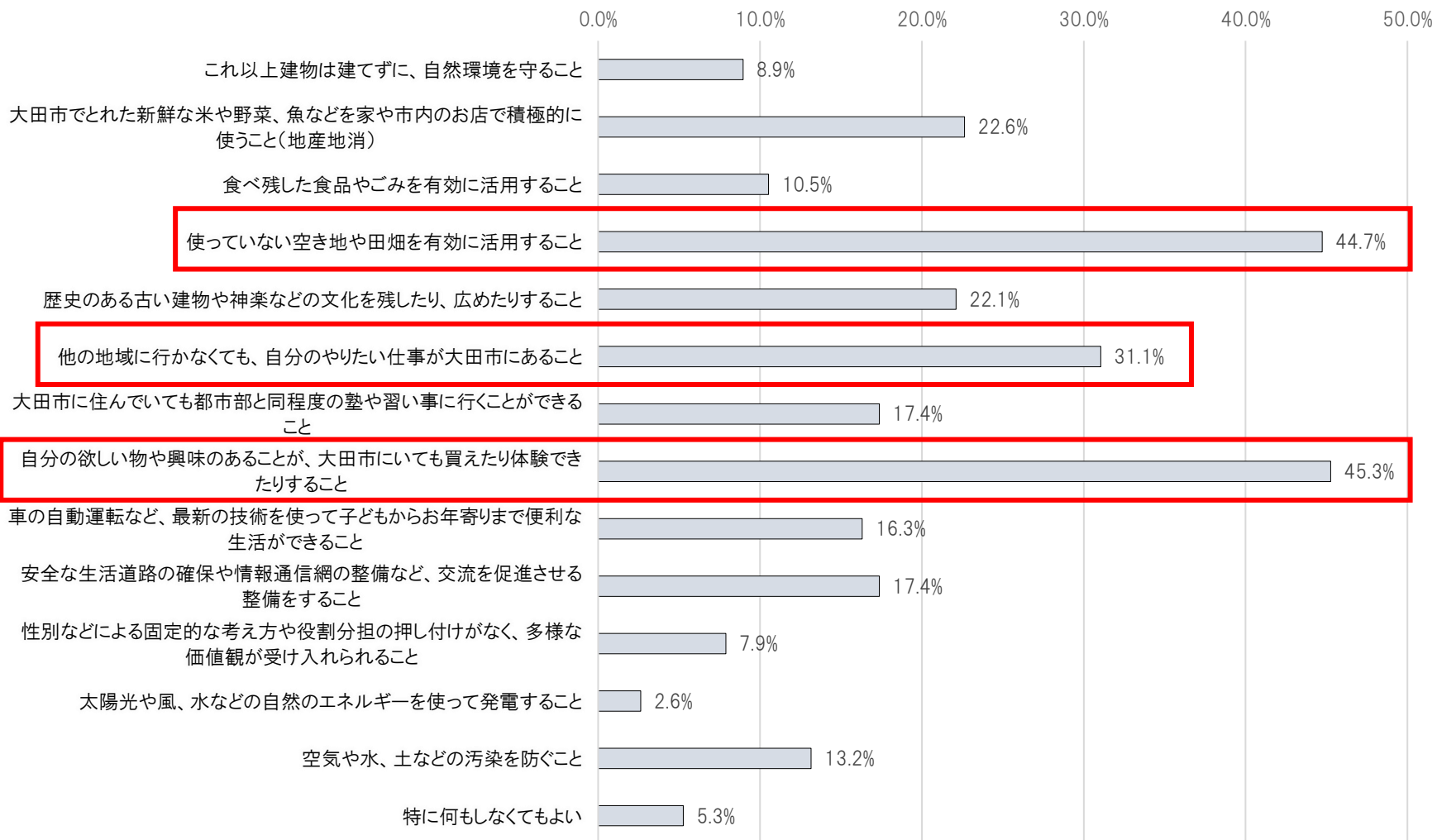
[理想の生活像]



■大人になったあなたやあなたの子ども世代がこのまちで暮らし続けるためには、何が重要だと思うか

このまちに必要なこととして挙げられていたのは、「自分の欲しい物や興味のあることが、大田市においても言えたり体験できたりすること」が最も多く、次いで「使っていない空き地や田畑を有効に活用すること」、「他の地域に行かなくても、自分のやりたい仕事が大田市にあること」となっている。

[このまちに必要なこと]



○インフラ・施設の充実・改善

- 都会っぽくする、駅を大きくする
- もっと遊べるお店が欲しい
- コンビニを増やす
- 山陰本線の本数を増やす
- 道が狭い
- 夜の街灯を増やす
- 交通アクセス(バス)の改善
- ファストフードのチェーン店を増やす
- 食べ物や服のお店を増やす
- 市立図書館の勉強スペースを申請無しで使用できるように
- 外観が古い建物のリニューアル
- 商業施設の増加
- バスの本数と料金の見直し
- 映画館や楽しめる店を増やす
- ビーバードの復活
- 室内の遊び場の創設
- 空き家や使われていない土地の活用
- 星が綺麗
- 駅通りの古い建物の活用
- セブンイレブンなどの店舗増加
- Uber Eatsの導入

○イベント・活動の企画・実施

- 市街や県外から人が来るようなイベントの開催
- 若者を引っ張り出すようなイベントの頻繁な企画
- 交流の場を増やす、自然を活かすイベント
- 市内の魅力を伝える活動の強化
- 映えスポットや映えスイーツの導入

○多様性・価値観の受容・認知

- 家族の形や働き方など多様な生き方が認められる環境の整備
- 若者の声をもっと取り入れるべき
- 英語が使える仕事の増加

○具体的な魅力やメリットを感じない・中立的な意見

- 特になし
- 何もない
- 普通
- 住みなれている
- 馴染みがある